



WebRAG型 AIチャットボット

“届く情報”とは

FAQや検索機能があっても、ユーザーがたどり着けなければ情報はないのと同じです。“届く情報”とは、ユーザーが自分の言葉で問い合わせて、迷わず必要な情報にたどり着ける状態を指します。

誰でも簡単に 使ってユーザーの 自己解決を促進

ITリテラシーを問わず、ユーザーは自然な言葉で質問可能。検索ワードやページ階層に縛られず、直感的に情報にアクセスできます。

Web全体を クロール 常に最新情報に対応

HTMLもPDFも対象に含め、情報の追加や更新も自動反映。FAQの整備やスクリプト設計は不要で、運用負荷が大幅に軽減されます。

信頼性のある回答と 誤答防止の仕組み

生成された回答には出典URL付き。ドリルダウン型の追加質問により、誤った内容の生成を防ぎ、精度を高めます。

WebRAG型AIチャットボットが解決する課題

1. FAQや検索を用意しても、問合せが減らない

情報が“ある”だけでは、ユーザーに届かないギャップをAIが解消

2. Webコンテンツが増えすぎて、整理・運用に手が回らない

サイト全体をクロールし、情報をAIで活用。メンテナンスも不要

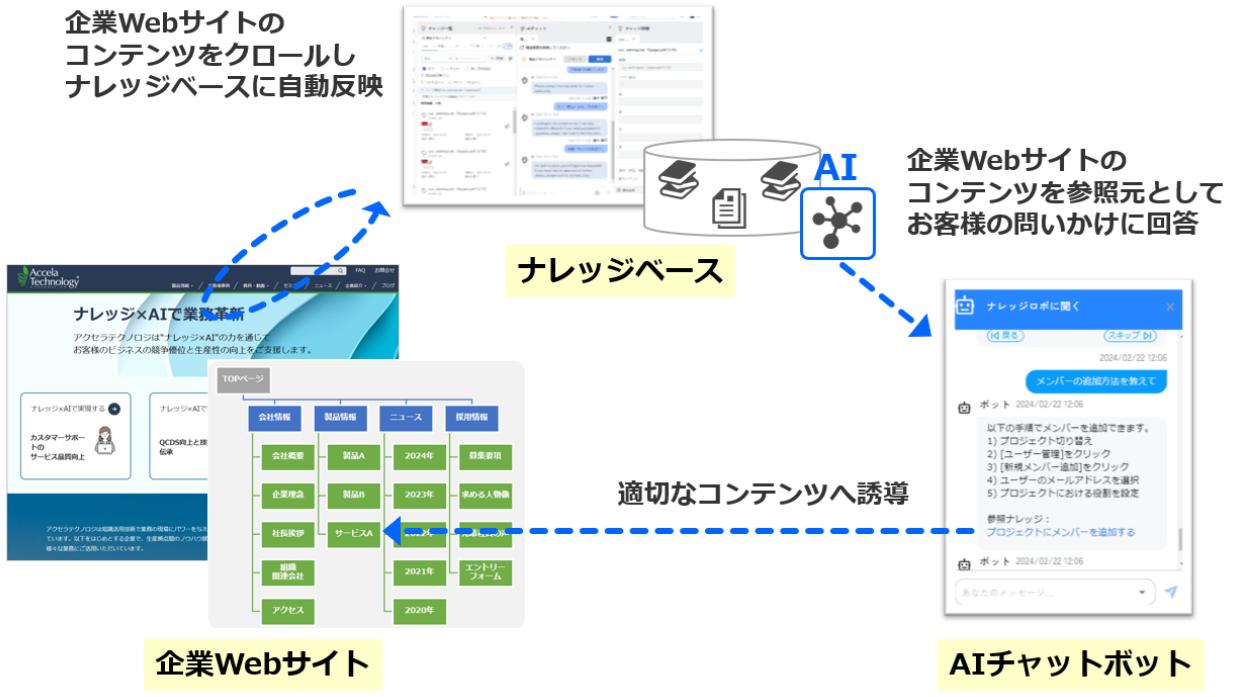
3. 誤答リスクや運用負担が大きく、チャットボット活用が進まない

高精度な回答と“導入しやすさ”を両立する新しい選択肢



解決のポイントは
裏面へ！

■適用イメージ



この仕組みにより、ユーザーが“自分の言葉で聞いて、すぐに答えが得られる”、そんな“届く情報”が実現します。

■課題解決のポイント

① 学習不要！手間なく簡単導入

スクリプト作成や事前学習不要で、既存のWebサイトをそのまま活用して迅速にAIチャットボットを設置できます。起点となるURLを指定するだけで対象ページを自動的にクロールし、情報を構造化してインデックス化。Web情報を更新すればAIの回答内容に自動で反映されるため、更新・管理の手間がかかりません。

② Webサイト情報をもとにAIがユーザーの質問に対応

ユーザーが話し言葉で質問を入力すれば、Webサイトの大量の情報の中からAIが最適な回答を導き出します。回答には出典となるURLが含まれるため、情報の信頼性も高く、安心して利用できます。

③ ドリルダウンRAGで精度の高い対話を実現

曖昧な質問には、ドリルダウンRAGによって、「製品Aですか？ 製品Bですか？」というように追加の絞り込み質問を提示し、より明確な情報を引き出します。これにより、生成AIにありがちな“見当違いの回答”を防ぎ、実用性の高いチャット体験を提供します。

④ Webサイトの継続的最適化でサービス向上

アクセスログや問合せ履歴を分析して、頻繁に利用される情報や不足している情報を特定します。この結果に基づき、Webサイトを継続的に改善、強化することで、お客様満足度を高め、競争力の高いサービス提供につながります。

掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。

©Accela Technology Corp. 本サービスには、当社が取得した特許（第5993848号、第7761291号）の技術を使用しています。